



発行所 アシュラムセンター  
523-0894 近江八幡市中村町 567-2  
Tel 0748-33-4030  
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ  
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772  
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

「守破離」という言葉がある。歌舞伎や能といった芸能の世界で、また武道や茶道の稽古において、そして企業経営や事業継承などでもよく使われる言葉だ。

「剣道や茶道などで、修行における段階を示したものの。『守』は師や流派の教え、型、技を忠実に守り、確実に身につける段階。『破』は、他の流派や教えについても考え、良いものを取り入れ、心技を発展させる段階。『離』は、一つの流派から離れ、独自の新しいものを生み出し確立させる段階」(『デジタル大辞林』より)をいうそうだ。

考えてみれば、私たちのプロテスタント教会も、ルターの宗教改革以来、この「守破離」を繰り返してきたように思う。もちろん、あまりにもこの「破」と「離」に偏りすぎたきらいはあるが(プロテスタント教派教団の数の多さを見よ)、しかし、そこはそれぞれの教派教団の決して譲ることのできない歴史があるに違いない。

さて、2024年最初の月のローズンゲンに選ばれた聖句は、主の弟子たちが、ユダヤ教の伝統である断食を行わないと言う批判に答えた

主の言葉である。「だけれも、新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりほしくない。そんなことをすれば、ぶどう酒は革袋を破り、ぶどう酒も革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ」(マルコ2:21)。新しい勢いのあるぶどう酒は発酵し、古い革袋をいとも簡単に破つてしまう。だから、新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れなければならない。これ

瞑想

新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。

マルコ2:22(協)

主幹牧師 榎本 恵

目瞭然だ。ことごとくユダヤ教の律法の定めを破り、当時の古い権威と対立し、洗礼を授けられたヨハネからは、困惑の目で見られる。そんなイエスこそが、「守破離」そのものであると、私は思う。しかし、果たして、そんな簡単なものなのだろうか。実は、この「守破離」という言葉の由来は、茶道を確立した千利休の「利休道歌」にあるそうだ。「規矩(きく)

が何を意味するのかは、一目瞭然だろう。古い革袋である、ユダヤ教や洗礼者ヨハネの弟子たちの教えを破り、離れ、イエスの新しい教えを中心とした新しい弟子集団がつくられていく、それは、前後に置かれたファリサイ派や律法学者たちとの間の論争、「中風の人の癒し」、「徴税人や罪人との会食」、「断食問題」、「安息日に麦の穂を摘む」そして「安息日の癒し」を読めば一

作法守り尽くして破るとも、離れるとても本を忘るな。徹底的に師の教えに倣い、守りぬく中で、同時に臨機応変に対応しつつ、ついには自由闊達に振る舞うことができるようになる。けれども同時にその「本」を決して忘れてはならない。それこそが「守破離」であり、主が「わたしに来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思つてはならない。廃止するためでは

なく、完成するためである」(マタイ5:17)と言われたことと相通じ、利休の「本」ではないだろうか。断食をするのも、それは決して自らの敬虔さ、信仰深さを誇り、見せるためなどではない。「第七の月の十日は贖罪日である。(中略) あなたたちは苦行をし、燃やして主にささげる献げ物を携えなさい」(レビ23:27)。神が定められた、悔い改めと罪の赦しを乞う最も大切な贖罪日。これこそが、忘れてはならない「本」なのではないか。だからこそ、主は「花婿が奪い取られる時が来る。その日には、彼らは断食することになる」(マルコ2:20)と。すなわち自らの十字架の死による贖いの時の来ることを、そしてその時にこそ悔い改めと贖いの印として断食が行われるのだと言われたのだ。

友よ、私たちもまた、信仰が形骸化してしまいやすい。しかし、その時にこそ、「本」とは何であったかに立ち返ろうよ。新しいぶどう酒を、新しい革袋に入れようよ。年の初めに、もう一つ利休道歌の言葉を送ろう。「稽古とは一より習い十を知り十よりかへるものとその一」。

第18回 国際正義・平和アシュラム

二日目 晩 天上の音楽

会場：敬和学園高等学校 チャペル

サクソ奏者 日比野則彦、ソプラノ歌手 日比野愛子ご夫妻によつて、高師の詩に曲がつけられ、参加者一人一人の魂に沁みこむ賛美となった。そして平和への祈りとなり広い世界へ：

「サボテンと毛虫」 高俊明

わたしは求めた 美しい花束を  
しかし神さまは とげだらけのサボテンをくださった  
わたしは求めた 愛らしい蝶蝶を  
しかし神さまは ゴツとするような毛虫をくださった  
わたしはなげき 悲しみ 失望した  
しかし多くの日が過ぎ去ったあと  
わたしは目を見張った

サボテンが多くの花を開いて 美しく咲き乱れ  
毛虫が 愛らしい 蝶蝶となって春風に舞い舞うのを！  
すばらしい神さまのご計画

高俊明詩集 瞑想の森より  
(一九八二年作)



アシュラムセンターには、この写真が保郎師、後宮師、田中師と共に並べられている。卓球ラケット持参で旅をされた高師、近江八幡でも卓球を楽しまれた。

下村 徹嗣  
敬和学園にてすばらしき天上の音楽の祭典が行われました。

日比野ご夫妻の賛美と演奏、台湾の若い方達による生命力溢れるダイナミックな賛美と踊り、神様への賛美が溢れ、神様もさぞ喜んでおられることでしょう。そしてまた平和へのメッセージがあり、最後の敬和学園高校の寮生70名に及ぶ方達、そして会場の人々を巻き込んだ賛美がありました。

本日に今戦争があり、そういう暗い状況にありますけれども、今日の賛美は本当に私たちの上に生きる希望と力を与えてくれるものであります。平和の主である神は必ずやこの暗い戦争に、悪の力に勝つことを信じ抜いてまいりたいと思いません。

主イエスは「私を信

じなさい。そして平和を祈り続けなさい」と言ってくださいています。私たち一人一人の力は弱いけれどもしかし、神様が、イエス様がそのようにおっしゃってくださいていることに希望と力を得てこれからも平和のためにもみなこぞって力を合わせて祈り続け歩みましょう。

今日この会場を提供してくださいました敬和学園をはじめこの天上の音楽の祭典に参加してくださいました皆様にご感謝しますとともに今日出席しておられる皆様全ての上に主の恵みと祝福が豊かにありますように。

この祈りを尊き主イエス・キリストのみ名によつて御前にお捧げいたします。  
(引退牧師) (日本キリスト教団金城教会)



天上の音楽、最後に下村師のお祈り、しみじみと…力強く。

→日比野則彦(サクソ)愛子(ソプラノ)ご夫妻が、高俊明師の詩に作曲、賛美された。他、今回の天上の音楽を、美しく奏で、参加者共に、平和への賛美に導いてくださった。



# 新会堂記念礼拝感謝

大島 庄吾 示していられることを祈っています。

主の御名を讚美いたし  
ます。

10月29日の新会堂記

念礼拝とオーブン・  
チャーチの御奉仕を頂  
き、感謝申し上げます。

アシユラムを兼ねて

先生が来てくださった  
ことは、神様の導きと、  
感謝いたしております。

す。今後は、蒔いて頂  
いた種が、多くの実を  
結ぶことを期待し、水

をやり、世話をしてい  
きたいと思えます。鏝

びついたナイフは、い  
つしか、光を放ち、世

の暗闇をさき、十字架  
を示していききたいと思  
います。

新潟でもアシユラム  
に助けられている多く  
の信徒の方がおられま  
す。そういう方が、教

会に結びつき大きな働  
きを担える祈りの力を

担える祈りの力を



大島師との出会いに感謝。大変お世話になりました。今後も共に祈り合わせてくださいませ。

(新潟愛泉伝道所)

## 榎本保郎 ちいろば牧師のメッセージ 本文2頁からの「アシユラムと私」

高俊明より

### 共に生きる

二十数年前、榎本保郎先生によって、台湾でもアシユラムを始めました。：今や国境をのり越え、言葉をのり越え、文化をのり越えて、世界各地に広がっています。そしてアシユラムの聖家族(ファミリー)として私たちはお互いに結びつけられているのです。主にある家族として、共に生かされているのです。

私たちは主イエスにすがって、この世の罪と苦難に打ち勝つ事ができるので。またアシユラムを通して、全世界各地の聖家族と共に祈りあい、慰めあい、励ましあって、共に力強く信仰に生きることができるようになったのです。感謝です。

愛と行動  
イエスさまは、すべての

いましめの中で一番大事なことは「こころをつくし、精神をつくし、思いをつくし、力をつくして、主なるあなたの神を愛せよ」ということと、「自分を愛するようにならな隣り人を愛せよ」ということであると  
言われました。

私たちが、アシユラムを通して、毎朝熱心に聖書を読んでみ言葉に聞き、み言葉に従って神と人を愛するものにして頂かなければなりません。

私たちは、いつも各地のアシユラムに参加している、という事で傲慢になつてはなりません。むしろアシユラムに参加すればするほど謙虚になって、自分の弱さ、足りなさを自覚すべきです。そして、ますます謙虚になって、苦しみ悩んでいる人々に仕えるべきです。

願わくは、私たちも榎本保郎先生のように「聖書を

足の裏で読む」人となり、地の塩世の光となつて、日本と台湾と世界に、神の義と愛と平和をもたらす者となりましょう。

1999年5月 台湾にて

\*\*\*\*\*

- 1929生〜2019没天
- 台南神学校卒
- 玉山神学院院長13年
- 台湾基督長老教会総幹事18年
- 4年3ヵ月台湾の人権運動のために入獄
- 台湾と世界各地で伝道



台湾の愛修会 (アシユラム)





いろいろなばを なつかしみて 筆を執り

西山多美子(東京・町田) 黒見妙子姉宅でのちいろいろ祈りの家集わっていた。

◆日本アライアンス呉教会婦人会の皆様より教会創立記念礼拝前と後にご丁寧なお便りを頂き感謝です。一部をご紹介します。

毎月アシュラム誌を届けて信仰を励ましてくださり感謝致します。また変わらぬ愛で呉教会のためにお祈りとお交わりを本当にありがとうございます。

(前)…説教題に早くも心と魂が傾いて共に礼拝する恵みを備えて下さった主を賛美します。和子先生召天に寂しさが秋の深まりとともに募りますが、天国からアシュラム運動を励まし祈りくださっておられますね…では再会を楽しみに…。

(後)「しかし、必要なことは一つだけです。マリアはその良い方を選びました。」ルカ 10:42

恵先生の語られたことを通して励ましを与えられ、覚悟を持つことを教えられました。アシュラムのために祈り備えられるよう求めていきたいです。先生の健康が支えられ奉仕が続けられますように。



教会の皆様による讚美♪



アベルモン宣教師、シメオン庭掃除だけでなく、英語Bible classも！手作りおやつも！

### 誕生日感謝のお手紙より

この度は…本当に有難うございました。主が共にいて下さることに感謝申し上げ…静かな日を楽しんでおります。

オリーブの里で皆様と共に過ごした2日間、心静まり満たされた素晴らしい時間をもう一度、とっております。

月に一度の桜美林大学でのしみじみする会、恵先生を囲んで楽しくしみじみと、ありがとうございます。

中村 登代子(オリーブの里アシュラム・しみじみする会)

### いえじま 雑記7 2度目の冬

2024年を迎えました。わたしはこの島に帰ってきて、二度目の年越しを迎えます。アメリカにいたことが遠い昔のようですが、同時に、この刻々と変わっていく海の色はいつ見ても初めてのように新鮮です。

この1月から岩波書店の『世界』という雑誌で「島に帰る」という連載が始まります。伊江島でのフィールドワークの中間報告として読んでいただければ幸いです。疫病に戦争、政治的腐敗と底が抜けたような世界にあってわたしの言葉はいかにも無力ですが、それでも言葉に頼るほか、ないようです。言葉が祈りとなるには、まだまだ未熟なものですが、この言葉の航跡がいつかながい祈りへと変わるように願っています。

子どもたちはますます手に負えなくなり、幼稚園をほとんど登校拒否している長女は、4月に小学生に、次女は年長さんに、三女はもうすぐ一歳になります。ぜひ伊江島にお越しください。皆様それぞれの新しい年の始まりが、よいものでありますように。

榎本 空(ノースカロライナ大学院生、沖縄伊江島在住)

### 第21回愛知アシュラムに参加して 日比 逸雄

「私にとって生きることはキリスト、死ぬことは益です。」(ピリピ1:21)の主題聖句のもと、岩波久一先生をお招きして、5年ぶりに行われました。

私はこの秋で70才を迎え、人生もう一度、再スタートをしてみようという課題を持ちこのアシュラムに臨みました。そして静聴を通し、実に多くの恵みをいただきました。

その中で、私の課題にぴったりのみ言葉をいただきました。(ピリピ2:17-18)「私は喜びます。あなた方一同と共に喜びます。同様にあなた方も喜びなさい。私と一緒に喜びなさい。」でした。

今後、たとえどんな生活状況に置かれても、主イエス様に今日もつながっていることを喜びなさい。とても大切なことをもう一度言います。主につながっていることを大きな喜びであると、心のうちにしっかりと止めなさい。この関係こそイエス様と私との根本的な関係であることを語っていただきました。時間に追われ、忙しいアシュラムでしたが恵みもまたあふれる程多くいただきました。感謝いたします。



日比兄は後列左。



ファミリーの皆様と分かち合い。左 中村登代子姉。



〈冊子「アンナとシメオン」感謝メールより〉素敵な写真の数々に、うっとり眺めております。去年の第2号も、あまりの美しさにもったいないくらい置いてありまして、特別な空気感をしみじみと感じさせていただいています。ふと、母の喜ぶ顔が見えて…。岡由香里(猪瀬和子姉のご長女)



アシュラムセンターでは、病の友のことも覚えてお祈りを合わせています。主の癒やしがありますように。ご家族共に。

### 榎本和子姉を想って 五井 純 (日本基督教団東所沢教会)

主の御名を崇めます。

柳沢姉より和子様のお召天の報を伺いました。長いことアシュラムセンターに御無沙汰して失礼をしてしまい、とうとうお会いする時を失ってしまいました。

近江八幡のセンターをお訪ねした時と日光オリーブの里アシュラムに御参加された時の何年も前の和子様を思い出しております。

メッセージも御著書も信仰に裏付けされた言葉、暖かさ、そしてユーモアのある本当に印象に残る魅力がある方でした。主の御許に逝かれて、愛する保郎牧師、てる子様との再会にあの美しい笑顔いっばいなのではないでしょうか。保郎先生の後のアシュラムセンターをしっかりと守り、恵先生にきちんとバトンタッチされたことなど、御報告されておられるかもしれません。

しかしながら、この地上に残された御家族皆様のお別れの寂しさ、悲しみはいかばかりかと御案じいたします。主の慰めと癒しとが皆様に豊かにありますように。全てのことに主の祝福を心よりお祈りいたします。



オリーブの里アシュラム2017年 素敵な笑顔の皆様。五井姉は後列中央。



加古川祈りの家、12月。アシュラム歴長い方も、入門の方も、皆、心開かれ目も開かれ。



第3回アドベントリトリートアシュラム5日間の初日、始まりの時。さあ！どんな出会いがあったでしょうか？！次号お楽しみに。



甲西伝道所(小西清信牧師)の皆様が、主日礼拝に。紅葉美しい時、肌寒かったため、アンナ祈りの家で礼拝、昼食。ほーっと一息。



かつてアンナの家購入のため、後宮師と祈って下さった松代姉。この日も「この窓誰が掃除するんや？」とニヤリ。

2024年が始まる。いったいこの年はどんな年になるのだろうか。戦争が止まず、地球環境はますます異常をきたし、政治の腐敗や経済の低迷ばかりが私たちの目につく。世界はなお混沌とし、先の見通せない、そんな不安と恐ればかりが襲ってくる。「主よ、あなたはどこにおられるのか」と、そんな言葉ばかりが口をついて出てくる。しかし、私たちは、新しい年には、新しい歌を歌おうではないか。テレビや新聞、インターネットが語る世の言葉ではなく、主の語る言葉に聞いていこう。

ペンテコステの日、「邪悪なこの時代から救われなさい」(使徒2:40)とペトロが大胆に語ったように、私たちも語ろう。主の聖霊を賜物を受けていこう。

今年こそ、主の霊の注がれることを待ち望みつつ、心一つとして、主の平和を、御国の来らんことを祈っていこう。(恵)

あしがき

何事も  
愛し  
て  
行  
く  
よ  
う  
に  
。

アシュラム

主と皆様のお祈りに感謝して。


1月の聖書教室など (2月は休み)		【主な問い合わせ先】 0748-33-4030 アシュラムセンター
5(金)	阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00)	
8(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30)	
9(火)	Zoom聖書教室 (AM10:30、PM7:30)	
13(土)	聖書と学ぶ会 (Zoom PM8:00)	
15(月)	使徒書に学ぶ会 (Zoom AM10:30、PM7:30)	
16(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30)	
17(水)	みんなのカフェいちろば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30)	
19(金)	センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00)	
21(日)	ちろば牧師記念チャペルミサ (PM5:00)	
22(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30)	
23(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)	
23(水)	しみじみする会 (桜美林大学 荊冠堂チャペル PM2:30)	
24(木)	美しい足の会 (Zoom AM10:30、PM7:30)	

1月のアシュラムなど	
1月25(木)~27(土)	第49回 年頭アシュラム

2月のアシュラム予定	
2月は、お休みとなります。早天祈祷会は、火~土。 朝6:30~7:30 Zoom参加OK。	
2月12(月)~14(水)	ルージラムス教会アシュラム(ブラジル) 奉仕者 榎本 恵師
2月19(月)~21(水)	第41回 台湾愛修会 主題: 主的疼疼到底 (ヨハネ福音書13:1) 会場: 烏山頭湖境會館 アシュラムセンターより齋藤篤師がご奉仕下さいます。申し込みはインターネットで。お問い合わせはアシュラムセンターへ。

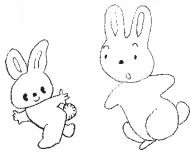
**49th 年頭アシュラム 2024年 1/25(木)~27(土)**

主 題 5つの勧告  
 主題聖句 何事も愛をもって行いなさい。1コリント16:14  
 会 場 琵琶湖コンファレンスセンター (琵琶湖畔のホテルです)  
 〒521-1136 滋賀県彦根市新海浜2丁目1-1  
 ☎ (0749) 43-3000  
 交 通 JR能登川駅より送迎バスあり(約40分)  
 奉 仕 者 榎本 恵牧師 (アシュラムセンター主幹牧師)  
 島 隆三牧師 (東京聖書学校神学教授)  
 会 費 26,000円(ツイン) 30,000円(シングル) 数に限りあり  
 申 込 1月16日(火)まで  
 \*Zoom参加も可。ご連絡ください。



**Zoom聖書教室 新規申し込みはホームページで。  
3月~8月分**

「初巻しみはとこしえに」  
厂代誌下7:6  
KAZUKO



◀和子先生へ  
しらいしみえこ  
↑淡路島にて、懐かしい親  
族の方々と。2018年12月。

**みことば**



羊(メグ・コレより)

日本基督教団仙台宮城野教会牧師  
アシュラムセンター協力牧師  
齋藤 篤

すると、たちまち目からうろこのようなものが  
落ちた。使徒言行録9章18節

10月28日の朝のことです。カルト宗教対策のために出かけていた先の旅館で目覚めたら、見え方が明らかにおかしいことに気がきました。左眼に砂嵐のようなものがかかり、遠くの景色も近くの文字も、パソコンの画面も、あらゆるものが見えづらくなってしまったのです。もともと強い近視に、最近では老眼も少しずつ入ってきたため、見るということ自体には不便さを感じていたのですが、今回ばかりはさすがに驚いてしまい、これは一体どういうことなのだろうかと思ひながら、日々を過ごしていました。

早く病院へ行けば良いものを、ついつい「時間が取れない」ことを言い訳にして、そのままにしていましたら、見え方はさらに悪くなってしまふではありませんか。一番困るのは、説教中に聖書や原稿の文字が見えなくなってしまったこと。讚美歌の音符も歌詞も至近距離に近づけながら、見るしかありませんでした。

光もとてもまぶしく感じるようになってしまったため、日中はサングラスをかけてしひいでいました。そうすると、どこぞのマフィアにしか見えないと言われる始末。運転も事務仕事も、原稿を書くことも(!?)集中力が続かなくなり、鬱々としたアドヴェントを迎えることとなってしまいました。

しかし、クリスマスに近づく頃、約2か月あまり眼を覆っていた砂嵐が、突然消えたのです。まさにパウロが経験したように「目からうろこ」が落ちたようでした。本当ならば踊るように嬉しいできごとなのではありますが、私のなかに思い浮かんだのは「神様、ごめんなさい!」の一言でした。早く病院へ行かなかったことを悔やんだのでした。なので、時間だなんだと言い訳せず、おとなしく、さっさと病院へ行こうと思います。

本年も、アシュラム誌を通してのお付き合いのほど、よろしく願ひいたします。

〈早天祈祷会の祈りより〉皆様お一人お一人が主の救いの中に名を刻まれていることを覚え感謝いたします。新しい一年、主によって導かれみことばに従って歩めますように。願わくば、どちらかのアシュラムで、皆様とお会いできますように。榎本 恵